

耐候性評価センター(2)

国内屈指の耐候性評価センターとして、多種の耐候性試験や腐食解析を受託しております。評価対象は、材料のみならず、部品、さらに大型重量物の製品にも対応しております。従来より高温での試験が可能な設備も導入しております。

塩害試験(大気腐食促進)

大気腐食をシミュレート、促進した各種の試験を承ります。

- 複合サイクル腐食試験(CCT): JIS H 8502、JASO M611-92等各種の試験に対応

塩水噴霧→乾燥→湿潤等を繰り返すことにより、大気腐食をシミュレート、促進します。**最大2×1.5×1.5m、300kgのサンプル**まで試験することができる国内最大サイズの超大型CCTを2台導入しています。また、低温サイクルや浸漬試験を組み込むことが可能な試験機などを多数設置しており、多種の塩害腐食試験を実施いたします。

- 塩水噴霧試験(SST): JIS Z 2371

5%NaCl溶液を噴霧することにより、腐食を促進します。

- 酢酸酸性試験(SWAAT試験、CASS試験等): ASTM G85-A3、ISO 9227

人工海水に酢酸を加えてpHを2.8~3.0とした液を49°Cで30分噴霧と恒温恒湿49°C、98%RHで90分保持を繰り返す試験(SWAAT試験)や、5%NaCl溶液を酢酸でpH3とし塩化第二銅を添加した試験液を噴霧することにより、局部腐食性を強くした試験(CASS試験)です。主に、Al合金やCrめっき材に採用されています。

- 人工酸性雨試験: JIS H 8502

5%NaCl溶液を硫酸・硝酸でpH3.5として、噴霧→乾燥→湿潤を繰り返すことにより、近年問題となっている酸性雨による腐食をシミュレート、促進します。



超大型サイクル腐食試験機
(2号機、-20°Cも可能)

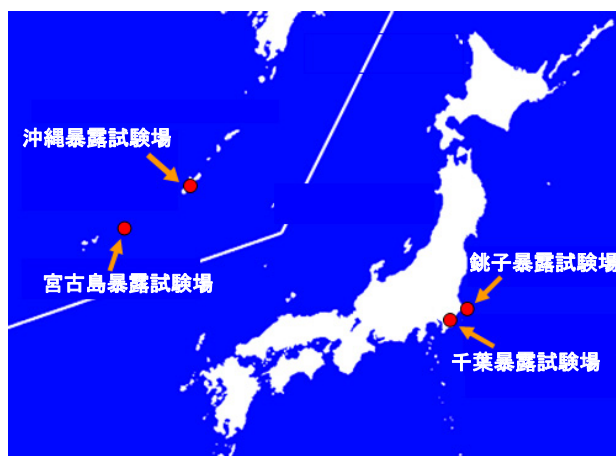


酸性サイクル腐食試験機
(SWAAT、人工酸性雨等)

大気暴露試験(JIS Z 2381)

下記の全国各地の暴露試験場で試験を行っています。大型の太陽電池パネルなどの暴露も可能です。現地環境測定として、飛来海塩粒子量、温度、湿度、SO₂量の測定やACM型腐食センサ(大気腐食モニタリング)による濡れ時間等の測定も可能です。

- 亜熱帯地域
 - ・ 沖縄暴露試験場
 - ・ 宮古島暴露試験場
- 海浜地域
 - ・ 千葉暴露試験場
 - ・ 銚子暴露試験場



全国暴露試験場